



猫用 高栄養は、疾病回復期、手術後および成長期、妊娠・授乳期の猫に給与することを目的として、特別に調製された食事療法食です。この食事は、カロリー含有量を高め*1、各栄養素を強化しています。

この食事療法食の対象



● 食欲不振

ストレスなどで食欲が低下しているときでも摂食を促すよう、高嗜好性に設計しています。



● 栄養不良

少量でも十分なカロリーが摂取できるよう高エネルギー化するとともに、消化性の高い原材料を使用しています。



● 外科手術後

外科手術後の回復期に十分な栄養がとれるようにエネルギー密度を高くし、各栄養素を強化しています。また、手術後の炎症を考慮して、 ω 3系不飽和脂肪酸(EPA, DHA)を増強*2しています。



● 妊娠/授乳期、成長期

高栄養が要求されるので、少量でも十分なカロリーが摂取できるよう高エネルギー化するとともに、消化性の高い原材料を使用しています。

*1 継続して使用する場合も定期的な診察を推奨しています。

成分	単位/400kcal
タンパク質*2	31.6g ↑
脂肪	24.6g ↑
食物繊維	3.9g
灰分	9.5g
水分	265.4g
炭水化物	18.3g
カルシウム	1.9g
カリウム	0.88g
リン	1.48g
マグネシウム	0.07g ↓
鉄	16.17mg
銅	1.69mg
亜鉛	22.64mg
ナトリウム	0.70g
EPA+DHA*3	703mg ↑
L-カルニチン	—
タウリン	0.57g ↑
アルギニン	3.51g
ビタミンE	65.7mg ↑
ビタミンC	21.09mg ↑
ビタミンB群	31.21mg

↓やや制限 ↓↓制限 ↑やや強化 ↑↑強化



規格：100g

代謝エネルギー … 114kcal/100g ↑*1

1日の給与量の目安

成猫に対する給与量

成猫の体重 (kg)	3	3.5	4	4.5	5	5.5	6	6.5	7	7.5	8	
標準	145g	170g	195g	215g	240g	265g	290g	315g	340g	360g	385g	
調整範囲	最大	185g	215g	245g	275g	310g	340g	370g	400g	430g	460g	490g
	最小	120g	140g	160g	180g	200g	215g	235g	255g	275g	295g	315g

成長期の子猫に対する給与量

月齢	子猫の体重の目安 (kg)	給与量 (g)
1	0.35~0.6	95~135
2	0.8~1.2	155~195
3	1.4~2.1	195~250
4	1.8~2.8	210~285
6	2.4~3.9	210~300
9	2.9~4.8	210~300
12	3~5	210~285

ここに表示されている給与量はあくまでも目安です。個体差や活動量、成長速度に応じて最大値と最小値の範囲内にて調整を行ってください。妊娠期・授乳期の母猫に関しては、上記の成猫に対する給与量を基に算出してください。妊娠期の最後の3週間：上記給与量×1.3 授乳期：上記給与量×3.0

使用が推奨されない病態等

- 慢性腎臓病、高アンモニア血症をともなう肝疾患
タンパク質、リンなどを多く含むため、使用する場合は注意が必要です。

原材料

豚肉、家禽*3肉、豚レバー、家禽*3レバー、米プロテイン、コーンフラワー、サンフラワーオイル、魚油、セルロース、トマトパウダー、フラクトオリゴ糖、酵母エキス(マンノオリゴ糖含有)、糖類、マリーゴールドミール(ルテイン源)、グルコサミン、コンドロイチン硫酸、ミネラル類(Ca, P, Mg, Na, K, Cl, Zn, Fe, Mn, Cu, I)、アミノ酸類(タウリン, DL-メチオニン)、増粘安定剤(カラギーナン)、調味料(アミノ酸等)、ビタミン類(コリン, E, C, B1, ナイアシン, D3, B2, パントテン酸カルシウム, B6, 葉酸, ビオチン, B12) *3 鶏・七面鳥
※調達の都合により、原材料を変更する場合がございます。

追加情報

- 給与期間は獣医師の判断によりますが、全身的な栄養状態や食欲の回復が目安となります。
- 本製品の各適応に対して選択いただける他のバラエティーについては、「疾病からみる適応表(P.7, P.8)」をご覧ください。